

L I N N K O L E K T O R

外部サラウンドプロセッサーと共に本機を使用する場合の ユーザー機能の設定について

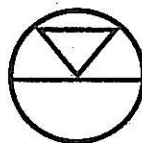
本機を外部サラウンドプロセッサーと共に使用し、U3（オートメモリー）とU8（ユニティゲイン）機能を同時に設定した上で、入力ソースを選択する時は、リモコンの万一の誤動作を避けるために、出来るだけフロントパネルの入力選択キーを使って操作して下さい。

やむなく、リモコンをご使用される場合には、入力ソースの選択キーボタンを少し長めの間（1.5秒以上）押すようにするか、或いは通常通りその都度、次に選ぶ入力ソースの音量を適切なレベルまで下げてから、その入力機器をスタートさせて下さい。

（解説　：リモコンの万一の誤動作とは、リモコンの入力ボタンを押した時間が短かすぎた場合、入力ソースは切り替わっても音量レベルはまだ、それまでの音量レベルから新しく選択した入力ソースの音量レベルに自動変更（U3）されていないことです。特にU8（固定音量レベル値：51）を設定し外部サラウンドプロセッサーを再生した後に他の入力ソースを、リモコンで選択する際にはお気を付け下さい。）

ご不明の点は当社サービス部までお気軽にお問合わせ下さい。

（株） リンジャパン 0120-126173



LINN KOLEKTOR

PREAMPLIFIER OWNERS MANUAL

セットアップ

この章では KOLEKTOR を開梱し他の HI-FI 機器とつなぐ方法をご説明しています。

開梱

KOLEKTOR の箱には以下の製品が入っています。

- KOLEKTOR 本体
- リモコン
- 電源ケーブル
- スペアヒューズ
- 本マニュアル

お引越しなどで製品を移動される場合のため、箱は取っておかれることをお勧めいたします。

電圧設定

KOLEKTOR は電源事情に適合するように設定変更なさるまでは電源コードを接続しないで下さい。電圧設定は、本体リアパネルのボルテージセレクターを正しい電圧がディスプレイに表示されるように動かして行います。

230V : 230-340V 地域

115V : 100-115V 地域

ヒューズ

KOLEKTORには2つのヒューズが必要です。

ヒューズを交換する際には、正しいヒューズを選択するようにして下さい。

リアパネル電源ソケットの下にヒューズホルダーがあります。

ヒューズを取り外す際には、まず電源を切ってACコードを本体から抜いて下さい。

ヒューズホルダーを引き出してカバーを外し、中のヒューズ2つを取り出して下さい。新しいヒューズを入れ直してホルダーを元に戻して下さい。

※できるだけアースをお取り下さい。

詳細は販売店におたずね下さい。

設置場所

KOLEKTOR はお客様のお使いいただき易いところに設置していただけますが、設置にあたっては以下のことにご注意下さい。

KOLEKTOR は他のリン製品の上に重ねて設置して頂けますが、パワーアンプ等、発熱する機器付近の場合には空気が十分に循環するようにして下さい。

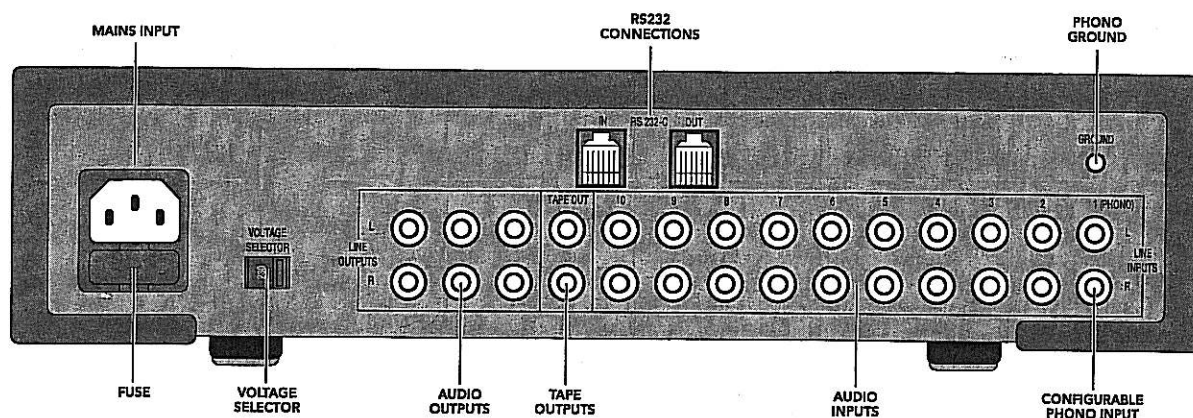
フォノ入力を御使用の場合は、パワーアンプから 30 センチ以上離して設置して下さい。

高感度リモコンを使用していますので、お部屋のどこにでも設置していただけますが、フロントパネルに直射日光が当たるような所はお避け下さい。ラック等の色付きガラスはほとんどの場合問題ありません。

インバーター用の照明器具は場合によりリモコン機能のついたオーディオやその他の機器の操作に障害をおよぼす場合がございます。ご注意下さい。

KOLEKTOR の接続

以下は KOLEKTOR のリアパネルの図です。



警告：プラグの抜き差しは電源を切ってから行って下さい。サージ電流が流れて製品が壊れる危険性があります。

入力ソースとの接続

KOLEKTOR には 10 種類のラインレベル入力ソースを接続できるラインレベル、RCA フォノ端子を備えています。接続に必要なケーブル類はリン販売店で取り扱っております。

フォノ入力との接続

1 のターミナルはラインレベルに代えて、フォノ入力として MM カートリッジ出力に対応させるように設定することができます。詳細は後述してあります。

テープレコーダーとの接続

KOLEKTOR をお使いになってテープに録音をされる場合、KOLEKTOR の TAPE OUT ソケットとテープデッキのライン入力をつないで下さい。テープデッキのライン出力は KOLEKTOR の入力端子のいずれでも接続可能です。(入力端子 3 が初期設定では TAPE 入力に設定されています。)

パワーアンプとの接続

KOLEKTOR とパワーアンプを接続するには、KOLEKTOR のライン出力とパワーアンプの入力ソケットを接続して下さい。KOLEKTOR はマルチアンプ、アクティブ化のため 3 系統の出力ソケットを備えています。KOLEKTOR は、LK85、LK140、LK240、KL0UT などのリンのアンプをはじめとする高性能アンプとご一緒にお使い頂くことにより、より優れた性能を発揮いたします。

ヘッドフォンの接続

ヘッドフォンはフロントパネルのヘッドフォン用ソケットにつないでお使い下さい。ヘッドフォン専用のアンプが搭載されています。ヘッドフォンご使用時はパワーアンプの電源を落として下さい。

電源への接続

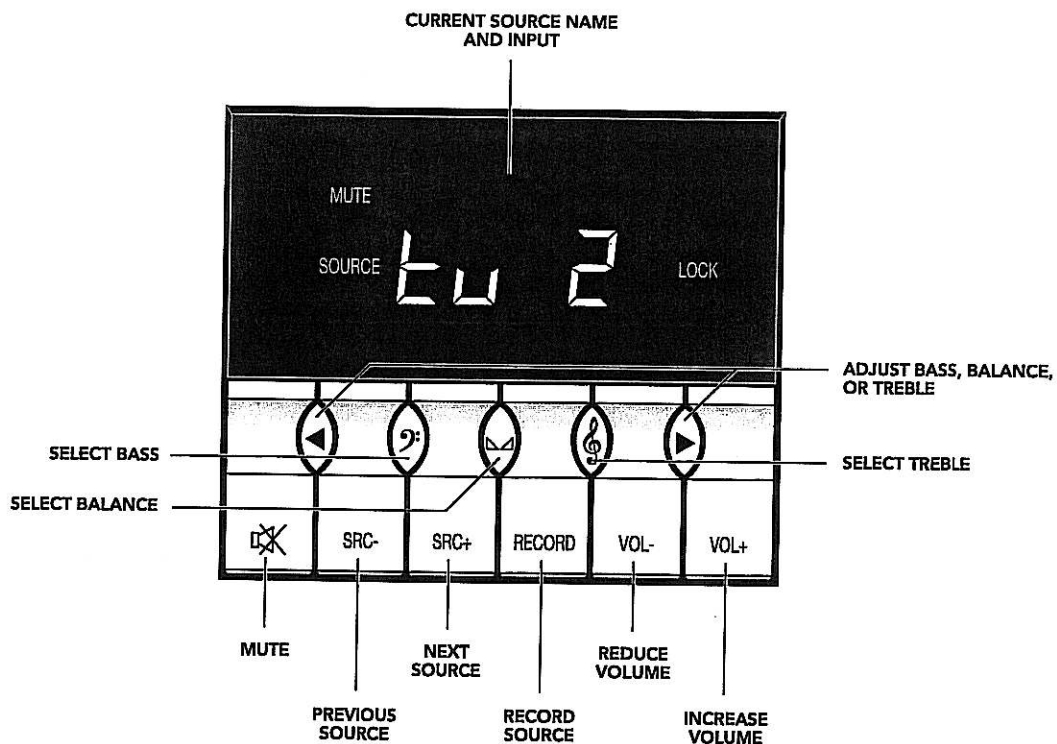
KOLEKTOR に電源ケーブルを接続、コンセントに差し込んで下さい。

KOLEKTOR の使い方

この章では KOLEKTOR の使い方の概略をお伝えいたします。

フロントパネルの使用

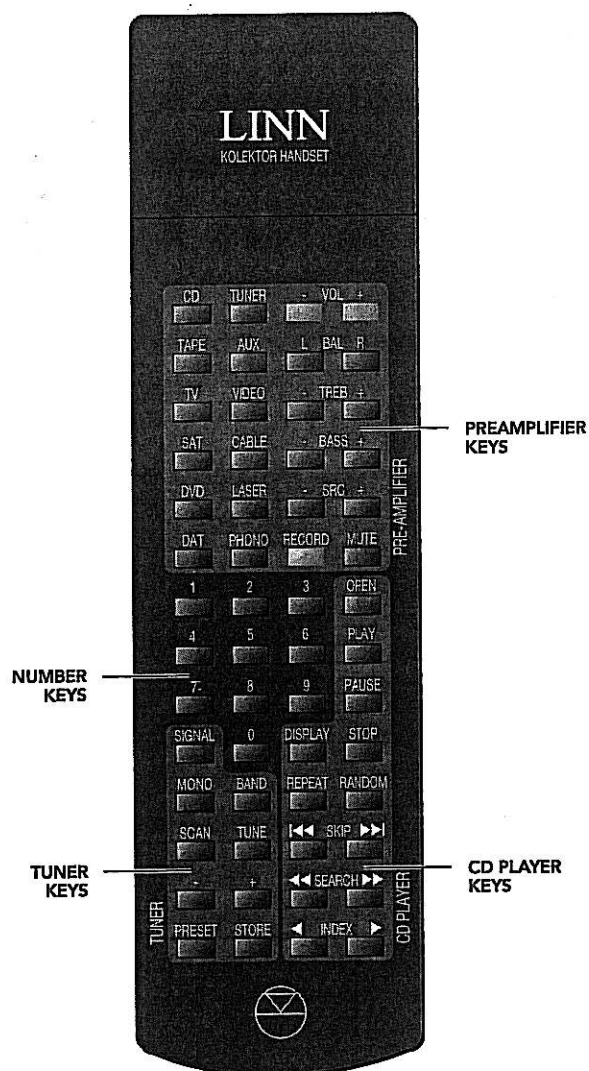
リンでは、シンプルな操作という点にポイントをおいて KOLEKTOR を設計いたしました。フロントパネルのディスプレイは現在 KOLEKTOR がどのような操作を行っているかを表示いたします。多くの洗練された機能を備えていますが、通常良くご利用になれる機能については1つか2つのボタンで操作していただけるように作られております。以下、フロントキーの機能とディスプレイについてご説明させていただきます。



フロントキーの機能

このキーを押すと	このような操作がおこなえます
	ミュート/ミュート解除
SRC-, SRC+	ソースの選択(正/逆順のスクロール)
RECORD	録音中に誤って入力に変更されないように、入力変更を出来なくするロックボタン
VOL-, VOL+	ボリュームの調整
	バストーンコントロールの選択
	バランスモードの選択
	トレブルトーンコントロールの選択
	バス・バランス・トレブルの調整

リモコンの利用



KOLEKTOR にはリモコンが付属しております。リモコン上でフロントパネルで行える全ての操作が可能です。それに加え、フロントパネルで可能な操作の他に、例えば入力ソースのダイレクト選択もリモコンを使って行えます。

ボタンは操作内容ごとに分類され、配置されています。右がそのグループを表示しています。

リモコンの下部のボタンは LINN の CD・チューナーの操作ボタンです。

数字ボタンは、最後にリモコンで操作したソースに対応するように設計されていますので、ご注意ください。数字ボタンが動作しない場合は、CD コントロールの部分のボタンのいずれかを押して下さい。

CD・チューナーの操作にリモコンをお使いになると、KOLEKTOR が自動的に必要な入力ソースを選択するように設定をすることも可能です。詳しくは本マニュアル「ユーザー選択」の U4 の項目をご覧ください。

スイッチの ON/OFF

スイッチを入れるには

1. フロントパネルのパワーボタンを押して下さい。
2. KOLEKTOR のディスプレイには現在選択されている入力ソースとその入力番号が表示されます。

ディスプレイ表示の変更については、本マニュアル「ユーザー選択」U2、U9、U10 の項目をご覧ください。

入力ソースの選択

KOLLEKTOR には以下の 10 種類のソースが初期設定されています。

入力	ディスプレイ表示	リモコンボタン	説明
1	cd	CD	CD プレーヤー
2	tu	TUNER	チューナー
3	tp	TAPE	テープデッキ
4	Au	AUX	補助入力
5	tn	TV	テレビ
6	cr	VIDEO	ビデオ
7	st	SAT	衛星放送
8	cb	CABLE	ケーブルテレビ
9	dd	DVD	DVD
10	ld	LASER	レーザーディスク

ディスプレイの表示とリモコンのボタンをお好みの入力番号に設定変更することが可能です。詳しくは本マニュアル“入力の変更”の項目をご覧ください。

入力ソースの選択

フロントパネルの SRC- SRC+ を押して選択して下さい。

現在選択中のソース名がフロントパネルのディスプレイに表示されます。押し続けると順番に表示が変わります。

入力ソースの変更中、ボリュームは自動的にフェイドダウンし、また選択が終了するとバックアップします。ボリュームが大きくなりすぎる場合、VOL+、VOL- ボタンを押して下さい。フェイドアウトを中止し音が大きくなるのが止まります。

リモコンでのダイレクト選択

選択したいボタンを押して下さい。

同一のソース名をいくつかの入力端子番号に登録した場合、対応するソースボタンを押して変更して下さい。例えば、仮に 2 台の CD プレーヤー入力端子番号 1、2 に登録した場合、リモコンの CD ボタンを 1 度押すともう一台のプレーヤーに変更することができます。この時ディスプレイには cd1、cd2 のように表示されます。

ボリュームの変更

通常ボリューム、バランス、バス、トレブルの設定は通常、全ての入力に対応します。最後に設定した内容は次回 KOLEKTOR の電源を入れた際にも記憶されています。ただしボリュームの設定は最大 15 で立ち上がりますので、これ以上に設定されても電源を入れた際に 15 を超えることは有りません。これらの設定内容の変更については本マニュアル“ユーザー機能”をご覧ください。

ボリュームの変更

1. フロントパネルもしくはリモコンの VOL- VOL+ を押すとボリュームが上下します。
2. ボタンを一度押すと、ボリュームがひとつ、押しつづけると連続して増減します。
ボリュームは 1 段階が 1dB になっており 0 から 60 までの範囲での選択が可能です。
現在のボリュームをご確認になりたい場合は、どちらかのボタンを軽くひと押しして下さい。

ミュートにするには

1. フロントパネルの  もしくはリモコンの MUTE ボタンを押して下さい。
2. ディスプレイ上の MUTE の文字が点灯、音がミュート（消音）状態になります。

ミュートを解除するには

1. フロントパネルの  もしくはリモコンの MUTE ボタンをもう一度押して下さい。
フロントパネル及びリモコンの入力、ボリュームボタンを押してもミュートの解除が出来ます。

バランスの変更

バランスは左右の間で 19 段階の変更が可能です。

バランスを変更するには

1. フロントパネルの  ボタンを軽く押して下さい。現在のバランス設定内容が表示されます。
2. その後、フロントパネルの   ボタンを押すとバランスの変更ができます。
もしくはリモコンの BAL L、BAL R を押しての変更も可能です。
バランスの変更中、ディスプレイは現在のバランスの設定内容を表示、BALANCE の文字が点灯します。

バランス設定中、 ボタンを押すとセンターでバランスが設定、保存されます。

バス、トレブルの変更

KOLEKTOR には、バス、トレブルそれぞれをのコントロール機能が備わっています。この機能を使えば、様々なスピーカー、入力ソース、ルームアコースティックに合わせて音質を調整できます。

バス トレブルの変更

1. フロントパネルの  もしくは  ボタンを押して下さい。
2. ディスプレイに現在のバス、トレブルの設定内容が標示されます。
3. BASS- もしくは BASS+を押しますと、バス設定内容の変更ができます。同様に TREB-、TREB+ ボタンを押しますとトレブルの設定内容の変更が可能です。(フロントパネルの  もしくは  ボタンを押しても同様の操作が行えます。)

それぞれ、-7(バス、トレブルが最弱)、0 (フラット) から+7 (バス、トレブルが最強) までの範囲での設定が可能です。

設定変更中に  もしくは  ボタンを押しますと、0 に設定が戻ります。

ソースの録音

KOLEKTOR は TAPE 出力を使って様々なソースの録音が可能です。録音中に入力が切り替わってしまうのを防止するため RECORD ボタンを押して下さい。

録音の設定

1. フロントパネルの SRC-、SRC+もしくは、リモコンのそれぞれのソースボタンを押して入力ソースの設定を行って下さい。現在選択されているソースが自動的にレコード出力に切り替えられるように設定されています。
2. その後、フロントパネルもしくはリモコンの RECORD ボタンを押しますと、LOCK の文字が点灯し、入力ソース変更をロックしたことを表示します。
レコードロック状態で入力ソースの変更をしようとなさいますと、SOURCE および LOCK の文字がディスプレイ上で点滅し、録音中であることを思い出させてくれます。

レコーディングモードのキャンセル

1. リモコンもしくはフロントパネルの RECORD ボタンを押して下さい。
2. LOCK の文字が消え、入力ソースのロックが解除されたことを示します。

この章では KOLEKTOR の持つ、ユーザー設定など様々な機能についてご説明しています。

入力端子の設定

KOLEKTOR は 12 までのソース名をバックパネルの 10 の入力端子に割り当てることが可能です。この設定に従って選択された入力ソース名がフロントパネルに表示されます。またリモコンのソース名もこれに連動します。

同じ入力ソース名を 2 つ以上の入力端子につけることもできます。この場合、リモコンの該当名を入力ボタンを押すと、順番に入力端子の選択が変わります。

MM フォノ入力の使用

MM フォノ入力をご利用になる場合は、KOLEKTOR の入力端子番号 1 に Ph という名称を設定して下さい。1 番以外の入力端子に Ph という名称をつけることはできません。ご注意ください。

使用していない入力端子の削除

現在ご利用になっていない入力端子に -- と名称をつけることにより、使用されていない入力端子をディスプレイ表示させないことができます。この設定を活用すれば、SRC-、SRC+ によって入力端子をスクロールする際に、これらの端子を飛ばしてスクロールできます。これは 10 未満のソースしかご利用になっていらっしゃらない場合、非常に便利な機能です。

入力端子の設定は以下の様に行います。

入力端子の設定開始

1. フロントパネルのパワースイッチで KOLEKTOR の電源をオフにして下さい。
2. フロントパネルの SRC- ボタンを押しながら、パワースイッチを再び入れて下さい。
3. フロントパネルの表示が ||||| から Sources に変わるまで SRC- ボタンをそのまま押しつけて下さい。
4. 次にディスプレイに入力端子 1 に関連付けられた入力ソース名が表示されます。

注意：入力ソース名設定中にパワースイッチを切りますと、設定中の変更は保存されず以前の設定内容が登録されたままになります。ご注意ください。

設定内容を変更したい入力端子を選択するには

1. フロントパネルもしくはリモコンの SRC- ボタンを押して下さい。

現在選択している入力端子の設定内容を変更するには

1. フロントパネルもしくはリモコンの SRC+ボタンを押して下さい。

順番に以下の表示がディスプレイ上に現れます。

ディスプレイ	対応する機能ボタン	表示内容
cd	CD	CD プレーヤー
tu	TUNER	チューナー
tp	TAPE	テープデッキ
Au	AUX	予備
Tn	TV	テレビ
cr	VIDEO	ビデオ
St	SAT	衛星放送
cb	CABLE	ケーブルテレビ
dd	DVD	DVD プレーヤー
Ld	LASER	レーザーディスクプレーヤー
dt	DAT	DAT プレーヤー
Ph	PHONO	フォノ
--	None	使用されていない入力端子

新しい入力内容に変更するには

1. フロントパネルの SRC-ボタンをディスプレイの ||||| 表示が終了するまで押しつづけて下さい。
2. KOLEKTOR は設定した入力ソースを選択した状態で通常の動作に戻ります。
注意：ディスプレイの ||||| 表示が終了する前に SRC-ボタンから手を放しますと、入力選択モードに戻ります。

ユーザー設定の変更

KOLEKTOR にはお客様独自にカスタマイズできる、12 のユーザー機能がございます。

ユーザー機能の設定変更

1. フロントパネルのパワースイッチを使って KOLEKTOR の電源を切して下さい。
2. 電源ボタンを押しながら、フロントパネルの VOL-ボタンを押して下さい。ディスプレイの ||||| 表示が終了し、Options と表示されます。その後、ディスプレイにはユーザー機能 1 とその設定内容が表示されます。

ユーザー機能番号が左、選択されている設定内容番号が右に表示されます。

ユーザー機能の番号を選択するには

1. フロントパネルの VOL-ボタンを押すとユーザー機能番号と現在の設定内容(番号)が順番に表示されます。
2. 一度押す毎に、次のユーザー機能番号に移ります。12 の次は 1 に戻ります。

ディスプレイに表示されているユーザー機能の設定内容を変更するには

1. フロントパネルの VOL+ボタンを押すと、設定内容番号が変わります。

ユーザー機能変更を終了するには

1. フロントパネルの VOL-ボタンをディスプレイの ||||| 表示が終了するまで押しつづけて下さい。
2. KOLEKTOR は設定したユーザー機能内容の状態で通常の動作に戻ります。

ユーザー機能

以下のリストはユーザー機能の詳細です。初期設定内容はアンダーラインで表示しています。

番号	名称	内容	選択番号	選択番号内容
U1	起動時のボリューム設定	電源を入れた際の立ち上がりボリューム(U5 が設定されていない場合)	<u>0=Vol 15</u> 1=Vol 30	Vol.15 Vol.30
U2	ディスプレイ表示のスリープモード	コマンド終了後 20 秒後にディスプレイをスリープモードにする	<u>0=Disabled</u> 1=Enabled "- -" 2=Enabled "..."	スリープモードに変らない(ディスプレイ常時点灯) 20 秒後"- -"と表示 20 秒後"... "と表示
U3	オートメモリー機能(動作)	入力ソース別にボリューム、バランスの設定を行う	<u>0=Disabled</u> 1=Enabled	演奏中のボリューム、バス、トレブル、バランスの設定が他の入力についても適用される ボリューム、バス、トレブル、バランスの設定がそれぞれの入力に対して可能
U4	オートリッスン機能	リモコンの CD、チューナーの操作ボタンによる自動入力切替	<u>0=Disabled</u> 1=Enabled	他の入力ソースが選択されていると、CD もしくはチューナーの動作ボタンを押しても、該当するソースは選択されない。 リモコンの CD もしくはチューナーの動作ボタンを何か押すと、自動的に該当する入力ソースが選択される。
U5	最終使用状態の保存(再起動時)	SW オフ直前のアンプの使用状態(入力ソース、ボリューム設定、バランス設定、録音経路など)を保存する。	<u>0=Disabled</u> 1=Enabled	電源を切ったときに使用していた入力ソースの設定内容を保存する。 電源を切る直前の、それぞれの入力ソースごとに最後の使用状態を保存する。(この機能は U1 の設定に優先します。) ご注意: ボリューム 30 以上でご使用になった場合、次回は 30 で立ち上がるように設定されております。
U6	赤外線コントロール	リモコン操作を可能/不能にする。	0=Disabled <u>1=Enabled</u>	赤外線コントロールを不能にする。 赤外線コントロールを可能にする。
U7	RC5 アドレス	KOLEKTOR のリモコンは 16 に設定されています	<u>0=16</u> 1=19	

U8	ユニティゲインの設定	ユニティゲイン(vol51 にて固定、音程、バランス、トーンコントロール調整を行わない)を入力端子に設定する。(外部サラウンドプロセッサと共に利用する場合)	<u>0=Disabled</u> 1=入力端子 1 2=入力端子 2 3=入力端子 3 4=入力端子 4 5=入力端子 5 6=入力端子 6 7=入力端子 7 8=入力端子 8 9=入力端子 9 10=入力端子 10	ユニティゲインの設定を行わない。 ユニティゲインの設定をいずれかの入力端子について行う。
U9	ディスプレイ表示(タイムアウト後の表示内容設定)	タイムアウト後のディスプレイ表示内容を設定する(タイムアウトの時間は U10 にて設定可能)。設定内容表示後 20 秒経つとディスプレイはスリープモードになり U2 で設定したスリープモードの内容が表示される。	0=変更しない 1=ボリューム 2=バランス 3=バス 4=トレブル 5=入力端子名 6=入力端子番号 7=入力端子名/番号	タイムアウト後もディスプレイ表示に変更なし タイムアウト後表示内容が変更される
U10	ディスプレイ表示(タイムアウトの設定)	ディスプレイ表示がもとに戻るまでの時間(タイムアウト)を設定する(タイムアウト後の表示内容は U9 にて設定可能)	<u>0=2 秒</u> 1=5 秒 2=10 秒 3=15 秒 4=20 秒	
U11	ボリュームコントロール	ミュートもしくは入力ソースを変更した際のボリュームの変更状態を設定する	<u>0=フェードアウト/イン</u> 1=ステップ	ボリュームがフェードアウトし、フェードインする音が切り替わる
U12	RS232 コマンドインターフェース	RS232 コマンドを可能/不能にする。	0=Disabled <u>1=Enabled</u>	RS232 コマンドを不能化 RS232 コマンドを可能化

工場出荷時の設定（初期設定）

これまでのユーザー設定を解除し、工場出荷時の設定状態に戻すこともできます。
 リセットするとユーザー選択は初期設定に戻り、入力端子のソース選択は解除されます。
 初期設定の内容につきましては上の表をご参照下さい。

リセットするには

1. フロントパネルのパワースイッチで KOLEKTOR の電源を切ります。
2. 電源ボタンを押しながら、フロントパネルの VOL+ ボタンを押しつづけて下さい。
3. ディスプレイに init の文字が表示されたら、VOL+ ボタンから手を放して下さい。
4. 設定したユーザー機能が解除され工場出荷時の初期設定に戻ります。

トラブルシューティングとメンテナンス

トラブルシューティング

ごくまれに操作ボタンを押してもKOLEKTORがその動作を行わない場合がございます。これは主にお使いになる方が違ったボタンを押されたことによって生じたものと思われます。

故障かな、と思ったら

以下は KOLEKTOR をご利用に際して、予想される症状とその解決方法です。

スピーカーから音が出ない

MUTE の文字がディスプレイに表示されていないことをご確認ください。

入力ソースが正しく動作していることをご確認ください。また、再生中の入力ソースが選択されていることをお確かめ下さい。

入力ソースの変更ができない

おそらく RECORD LOCK が作動している状況と考えられます。RECORD ボタンを押して、レコードロックを解除して下さい。

リモコンによる操作に動作しにくい

コンピューターのモニター画面やインバーター式の蛍光灯の中にはリモコンの赤外センサーに影響を与えたり、誤動作の原因となるものがごくまれに存在します。これらの機器の影響を受けないような場所に KOLEKTOR を設置して下さい。

入力ソースのダイレクト選択やスタンバイ解除により誤動作がおきた

スタンバイが解除された状態で誤動作が起きる場合は、ユーザー機能をご確認ください。相反するユーザー機能の設定により誤動作が起きていることが考えられます。変更前に本マニュアル、ユーザー機能設定のページをご確認ください。

メンテナンス

LINN KOLEKTOR は長年のご使用に耐えるよう設計されております。メンテナンスはリン製品のノウハウを持ったリン販売員にお申し付け下さい。

警告：メンテナンスは必ず電源を切ってから行って下さい。

クリーニング

ほこりや指紋はやわらかい、湿った布で取り除いて下さい。市販のクリーニング用品のご利用はさけて下さい。

ご不明な点がございましたら、以下までご連絡下さい。

総輸入代理店

株式会社 リン ジャパン

〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 2-36-7

TEL:0429-46-1841 / FAX:0429-46-1840

フリーダイヤル:0120-126173

保証とサービス

アフターサービス

製品に対するお問い合わせは正規販売店に御相談下さい。なお、許可なく改造や修理をされた場合には保証書によるお取り扱いができないことがあります。御不明の点は最寄りの LINN 販売店にご相談下さい。

- 1 ご利用いただく前に必ずオーナーズマニュアル（本冊子）にて安全な利用方法をご確認下さい。
- 2 後々のご利用のため、マニュアルは必ず捨てずにお持ち下さい。
- 3 マニュアルには様々な注意点が書かれています。必ずそれらを守ってご使用下さい。
- 4 マニュアルの使用方法に従って製品をご利用下さい。
- 5 水の近く、例えば浴槽、洗面所、洗濯機等の近くに設置しないで下さい。
- 6 販売店のお勧めする台、ラックをご使用下さい。製品を可動式台に設置してのご利用は注意深く行って下さい。急に動かしたり、平らでない面に置いたりすると転倒の原因となります。
- 7 壁面、天井への据えつけは販売店にご相談下さい。
- 8 製品には換気が必要です。ベッド、ソファ、などの換気を妨げるものの上への設置、または埋込式設置、キャビネットのなかへの設置などは、製品の換気を妨げますのでなさないで下さい。
- 9 製品は熱を嫌います。ラジエーター、ヒーター、ストーブなど熱源のそばに設置しないで下さい。
- 10 マニュアルに記載、もしくは製品に記された電源にのみ接続して下さい。
- 11 製品にはなるべくアースをおとり下さい。また、ケーブルの極性にご注意下さい。
- 12 コードは製品につぶされないようご注意ください。またプラグ、ソケット、製品との接点にはご注意ください。
- 13 製品はオーナーズマニュアル（本冊子）または販売員のお勧めする方法にしたがってクリーニングを行って下さい。
- 14 クリーニングはリンのお勧めする方法にしたがって行って下さい。（本マニュアル該当部分をご覧ください。）
- 15 電源ライン付近にアンテナを設置しないで下さい。
- 16 チューナー／レシーバーに屋外用アンテナを取り付ける際には、急激な電熱変化、静電気の蓄積を防ぐためにアースを取り付ける必要があります。
- 17 長期間ご使用にならない場合は、差し込み口からプラグを抜いて下さい。製品の内部にものや液体が入らないようご注意ください。
- 18 製品の内部に、ものや水分がはいらないようご注意ください。
- 19 以下のような症状が発生したら、販売員までご連絡下さい。
 - a) 電源コード、もしくはプラグが破損したとき
 - b) 製品の内部にものが入った場合
 - c) 製品がぬれた場合
 - d) 正常に作動しなかったり、演奏中に表示が変わったりした場合
 - e) 製品が落下したり、内部に損傷が生じた場合

リンの製品は、お買い求めになった国の条件の元に保証をされております。規定の条件に加え、製造段階における瑕疵があった場合には、どの部分でも部品交換いたします。円滑な保証と修理をお約束するためにも、保証登録申込書のご記入とご返送にぜひご協力下さい。（ご返送先：株式会社リン ジャパン）

注意： リンの製品の修理は、リン特約店にお任せ下さい。特約店以外の修理や部品交換等をなさいますと、製品保証が出来なくなりますのでご注意ください。

お手持ちの製品について御不審な点がございましたら、最寄りのリン販売店までご連絡下さい。

* 領収証は御購入日確認のため必要です。大切にお持ち下さい。

* 修理のための運搬時の破損はお客様御負担とさせていただきますのでご注意ください。

テクニカルインフォメーション

仕様

一般

サイズ	H80 mm × W320 mm × D325 mm
重量	4 kg
消費電力	8 W 以下
電源電圧	A C 100-115V / A C 220-240V (それぞれ±10%の変動に対して特性に影響なし)

オーディオ

入力インピーダンス	Input 1 : 47k Ω (68pF) (フォノ設定時) Input 2~10 : 50k Ω
入力レベル	Input 1 : 2.5mVrms (フォノ設定時) Input 2~10 : 2Vrms
出力インピーダンス	300 Ω (ライン入力) 100 Ω (テープアウト)
増幅率	フォノ入力 : 45dB (1kHz) ライン入力 : 10dB テープ出力 : 0dB (ライン入力より) 36dB (1kHz, フォノ入力より)
音量調節	: 0~60 (60ステップ)
トーンコントロール	BASS : ± 10 dB / at 40Hz TREBLE : ± 10 dB / at 20kHz

総輸入代理店

株式会社 リン ジャパン

フリーダイヤル:0120-126173